



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：内閣改造

12月8日、アブドゥッラー国王は、閣僚の人事に関する勅令を9本発出した。新たに任命された閣僚は以下の通り。

スライマーン・アブドゥッラー・アバー・ハイル（博士）、イスラーム事項・寄進・宣教・善導大臣

ハーリド・アブドゥッラー・サブティー（博士）、高等教育大臣

ムハンマド・アリー・ハヤーザウ・アール＝ハヤーザウ（博士）、保健大臣

アブドゥルアジーズ・アブドゥッラー・フダイリー（博士）、文化・情報大臣

ファハード・ムウタード・シャファク・ハマド、通信・IT大臣

スライマーン・サアド・フマイヤド、社会問題大臣

ワリード・アブドゥルカリーム・フライジー、農業大臣

アブドゥッラー・アブドゥルラフマン・ムクビル、運輸大臣

イサーム・サアド・サイード、国務大臣

評価

サウジアラビアにおいて、一度にこれだけ多くの大臣が交代する内閣改造は数年ぶりのこと。6人の閣僚が交代の対象となり、空席となっていた文化・情報大臣、保健大臣がそれぞれ任命されたほか、イサーム内閣官房長官に国務大臣の肩書きを付与し、内閣の一員とした。今回の内閣改造では王族が保有する重要ポストは対象になっておらず、サウジ内政全般に与える影響はそれほど大きくないと見られる。

（村上研究員）